

平成 29 年 10 月 2 日

計算プログラム 修正点 ( Ver.2.2.3 → Ver.2.3 )

下記の修正を行いました。

<共通>

1. BEI の計算において、浮動小数点誤差により実際の値よりも 0.01 大きくなる場合がある問題を修正しました。
2. 一部の数値入力欄で数値以外の文字を入力した場合でもエラーとならず、計算される問題を修正しました。

<基本情報>

3. 主たる居室およびその他の居室の床面積の最小値を 1m<sup>2</sup>に変更しました。
4. 居室の構成の選択、その他居室の有無および非居室の有無の選択を追加し、その他居室もしくは非居室、あるいはその両方がない場合も入力できるように修正しました。
5. その他居室の床面積を 0m<sup>2</sup>とした XML ファイルを読み込んで編集した時に、エラーが発生する場合がある問題を修正しました。

<外皮>

6. 暖房・冷房期平均日射熱取得率の小数点以下桁数を小数点以下 2 桁から 1 桁に修正しました。

<給湯設備>

7. 熱源機(給湯専用型)の種類において「電気ヒートポンプ給湯機」を選択した場合に、効率の入力において「M1 スタンダードに基づく JIS 相当効率を入力することにより省エネルギー効果を評価する」を選択し、数値を入力することが可能となりました。
8. 熱源機の分類において「給湯・温水暖房一体型」を選択し、熱源機(給湯・温水暖房一体型)の種類を「ガス潜熱回収型給湯温水暖房機」もしくは「石油潜熱回収型給湯温水暖房機」として、さらに効率の入力を「入力しない」とした場合に、潜熱回収型の機器効率ではなく、

従来型の機器効率により計算される問題を修正しました。

9. 給湯設備・浴室等の有無において「給湯設備がある（浴室等がない）」を選択した場合に、ふろ機能の種類が選択できず、「給湯単機能」として計算される問題を修正しました。
10. 給湯の JIS 効率の小数点以下桁数を小数点以下 2 桁から 1 桁に修正しました。

<太陽熱利用給湯設備>

11. 太陽熱温水器の集熱部総面積、集熱貯湯部総面積、有効集熱面積、ソーラーシステムの集熱器総面積および有効集熱面積の最小値を  $0.5\text{m}^2$  に変更しました。

以 上